

2026年9月1日付組織数
2,507名（前月比±0名）
2026年1月1日付組織数2,528名



土建国保の方は必ず設立前に相談を
法人化は東京土建へ



発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 染矢 憲広
ホームページ
https://www.dokenkodahiga.jp



小平東村山支部 結成10周年記念行事

どけんまつり

くらしとまちを支える建設業を
体験して、見て、楽しもう！

みんなで
10周年を祝おう！

模擬店

木工教室

ステージイベント

建設業コーナー

エア遊具
(カラフルパーク)

開催日時 **2026年 10月4日(日)**
10:00～15:00

会場 **東村山市役所 第2駐車場**
東村山市本町1-2-3

お問い合わせは小平東村山支部まで
☎042-342-2846

ご家族みんなで
楽しめます！

**駐車場は
ありません**
ご来場の際は
公共交通機関を
ご利用ください。

会場案内図

秋の仲間づくり月間がスタート！ 支部目標89名の達成を目指して



今年も、秋の仲間づくり月間が始まりました。8月25日から10月31日まで、支部目標89名の達成を目指して取り組みます。8月下旬には全分会でそれぞれ出陣式が行われ、目標達成に向けて意思統一を図りました。

【秋の仲間づくり月間の目標（35%）】

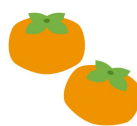
●10月31日までの新規加入手続き

分会	目標
花小金井	5
小平東	6
美園	7
一ツ橋	5
上宿	6
小川	6
野火止	7
柳瀬	6
北山	6
南	6
事業所・直属	29
支部全体	89

※各分会目標は切り上げ計算のため、その合計と支部全体目標は一致しません。

毎週木・金曜日を中心に、10日間の行動を予定しています。詳しくは分会役員までお問い合わせください。

できることから
一緒にやろう！



難しく考える必要はありません。仲間づくり行動への参加、組合未加入の仲間の紹介、現場でのパンフレット配布、近所へのチラシ配布など、できることからご協力をお願いいたします。

増田邦彦「みんなで力を合わせて仲間を増やし、私たちの仕事と暮らし、そして家族の安心を守りましょう！【組織担当書記・増田邦彦】」

東京土建は、仲間の数を力に要求を実現するとともに、仲間の仕事と暮らしを支えるさまざまな制度をつくりあげてきました。仲間が減れば、要求を実現する力が弱まり、制度を維持することも難しくなります。だからこそ、仲間づくりは一部の役員だけではなく、すべての組合員に関わる大切な取り組みです。

また、行動に3回参加すると、ご当地ラーメンをプレゼント！さらに、高級グルメギフトなど豪華景品が当たる参加者限定抽選会も開催します。月間中には、みなさんのお宅を訪問し、組合のイベントやお得な情報をまとめた「メルिट集」をお届けします。ぜひ手に取って、ご一読ください。

みんなであらう！

仲間づくり

用水路

心に茶柱・福言葉・誰かの幸せを祈ると。自分も幸せなんだ。日々感謝

して・心豊かな生活を。明日の君はきっと今日よりは成長している。希望の春は 総ての人に春が来る。目の前の人を大切にできれば あなたもたいてい幸せになるのだ。迷ったら原点に戻って見えるから。朝飲む一杯のお茶。これだけで一日幸せだ

やらない人より やって失敗した人が勝ちなんだよ・楽しめることがふえること・それが一番いい人生だ・いつまでも好奇心を持つている人の人生はゆたかだね・長いつもりで短いのが青春・短いつもりで長いのが老後・時には装いしあでやかに・少ないつもりが多いのが無駄・弱いもので強いのが自我・薄いつもりで厚いのが面皮・配り肝心細やかに・夢と希望は高らかに・人間関係細やかに・少懐多笑という言葉はあまり怒らないでよく笑う

来年は何に挑戦しようか・考えるとかわくわくるね・春の小川にはセリもある・小鳥も来る・今日も元気で仕事に励みましょう

(小平東・丸)

同じ悲劇を繰り返さないために

原水禁世界大会に参加して

今年、原水爆禁止世界大会の広島大会に、支部代表として川合綾鳳さん(美園)と森元架有書記が参加しました。代表派遣カンパへの皆様のご協力に、感謝いたします。

広島で感じた戦争の現実

3日間、色々な人の話を聞きました。「原爆は、人間と共存できない」被爆せず残された家族、原爆を受け生き残ったが悪夢は終わ

らない被爆者。PTSD、放射線による白血病などの重い病気、子どもに母さんの顔が怖いと言われた事、サバイバーズ・ギルト(生存者罪悪感)など。一瞬で起こった事が、被爆者の家族には一生残ってしまいました。私が想像していた何倍も苦しい思いをしたことを知り、心が痛みました。わたしが原爆を知ったのは、小学生の時でした。『ドームものがたり』という本を読んだことをきっかけに

知り、それから約10年後の今回、広島に行きました。絶対戦争は繰り返してはいけません。だけど戦争はなくなることは多分ありません。一部の外国人が資料



ヒロシマデー集会の様子

受け継いでいく平和への思い

今回、原水禁世界大会に初めて参加し、日本や世界には、多くの平和を願う人々がいるということに、希望に感じたと同時に、被爆者の方々の高齢化に危機感を覚えました。

2日目の分科会は、若者

館に行き、誇らしそうに見

ていたそうです。人間に欲望があるかぎり争いを続けます。なので私は繰り返さないために武器を持つべきだと思いました。だけど武器として使うのではなく、自分と大切な人、物を守るものとして使うことができたらいいなと思いました。

【美園分会・川合綾鳳】

が集う「青年のひろば」参

加し、当時14歳だった被爆者の方の証言を聞きました。家族を亡くし、「当時に負った心の傷はいつまでも消えない」という言葉に、胸が痛みました。そして、今年94歳の方が、参加した多くの若者たちに向けて「これからの時代をよろしく」と最後に力強く投げかけられたのが、心に重く残りま

した。終戦から81年、被爆



川合さん(左)、森元書記(左から2番目)と、共に参加した小平代表の皆さん

者の平均年齢は86歳を超えて

います。体験を直接聞けるタイムリミットが迫っている中で、私たちの世代に何ができるのか、考えさせられました。

私は、祖父が被爆者であることから、被爆という経験は、幼いころから身近に存在していました。当事者でありませんし、何度話を聞いてもその痛みを理解することはできませんが、被

爆3世という立場は、原爆

や平和について考え、行動することから切り離せないものだと考えています。今回の経験をまずは身近な人に伝えていくこと。そして、これからも学び、考え、行動していくことを大切にしていきたいと思います。

【書記・森元架有】

秋の拡大2026

小川分会

動いてみよう、そこから始まる

7月19日、小川東第二地域センターにおいて、参加者7名で秋の拡大作戦会議を行いました。まず、第一にスローガンを「つながる未来の分会はここから」とし、車3〜4台で、各車3件以上廻る事で話がまとまり、全工程で90〜100件廻ろうという事で一致しました。1件でも多く仲間を獲得しようという事で、話を詰めて今回は中身の濃いものにしようではないでしょうか。1人では何もうまくない、大勢で行動すれば、達成できます。実際建設資材店での5%値引きは大変助かっており



センターでの作戦会議の様子

皆さんに相談をすれば、もっと良い考えがあるかもしれない。みんなで親身になって相談に乗りましょう。【小川分会・竹野幸一】

決勝は小学生対決！熱戦の第4回こだひが王将杯



優勝の森さん(左)と山本五段(右)

準優勝の小倉さん(左)

こだひが王将杯参加者の皆さん

7月26日、支部会館にて第4回目となる「こだひが王将杯」が開催し、山本博志五段、山上皓也指導員を招いて27人の仲間が将棋を楽しみました。今年は9人の初参加者があり、非常に盛り上がった将棋大会となりました。

決勝戦ではなんと、前回準優勝の小倉一元さん(一ツ橋・11歳)と初参加の森晴哉さん(小平東・10歳)による小学生対決となりました。二人とも田中さん・佐竹さんという歴代王将を破った猛者です。この激戦を制したのは・・・森さんでした。実は彼は昨年、全

参加者の声

今回が3度目の参加となった小倉さん親子に、お話を伺いました。

【小倉一元さん(子)】

テレビで見るプロ棋士が目の前にいて凄いなあと思っ



決勝の対局の様子

【小倉良博さん(一ツ橋)】一元が将棋に興味を持ち始めたことがきっかけで、

やはり強くて、全然かなわなかったです。決勝戦での対局は負けて悔しかったので、一番印象に残っています。

知り合いになった人たちも交流を深め、今では距離を超えてオンラインで将棋を指す仲間になったそうです。

【小倉良博さん(一ツ橋)】

一元が将棋に興味を持ち始めたことがきっかけで、

私にとってはとても丁度よいです。

一元はこの大会を毎年楽しみにしていて、目標をもって参加しています。来年も親子で参加しようと思っています。きっと一元が優勝します。